※令和４年度以降入学生用

学校番号	1202

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	（学）ライフスポーツ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・グループ学習を通じて、自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・ニュースポーツを体験し、様々なスポーツに触れることで生涯にわたってスポーツに親しむ態度を養おう。

２　学習の到達目標

（１）運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。（a:知識・技能）
（２）自己の課題やグループの課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己の考えたことを他者に伝える力を養う。（b:思考・判断・表現）
（３）運動を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たすなどの意欲を育てるとともに、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。（c:主体的に学習に取り組む態度）

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 ・スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。 ・記録や技能向上に挑戦する。 ・運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。	・知識を活用し、技能の向上につなげる。 ・自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組みを工夫できる。 ・学習で得た成果を自ら応用・発展させ、他の運動や実生活に生かす。	・体調を整え、実技に参加する。 ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動しようとしている。 ・仲間と連携・協力して準備や片付けなど行い、各種目を楽しむ。 ・協調性、安全性の確保ができ、また勝敗や結果を受け入れ、個人の技能・能力を客観的に判断できる。 ・公正・協力・責任などの態度を身に付ける
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
通年	体つくり運動・球技全般	バレーボール バスケットボール バドミントン 卓球 サッカー ソフトボール ハンドボール アルティメット テニス ターゲットバードゴルフ ボッチャ 等より選択	ａ：体つくり運動のたのしさや心地よさを味わうことができるよう、自他の体力の違いや体の状態に配慮して健康・安全を確保して学習に自主的に取り組んでいる。（技能） ｂ：ねらいに応じて健康保持増進や調和のとれた体力の向上を図る計画を立てるとともに、自己の課題に応じて、運動の取り組み方を工夫している。（表現） ｂ：グループワークを通じて、自己やグループの課題を発見し、その課題を解決するための方策を見つけ、計画を立てることができる。（思考・判断） c:自主的に課題に取り組み、仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合おうとしている。（主体的） ｃ：グループで必要な技術や能力を養うための練習を考え、協力して行うことができる。（主体的）	・観察 ・ワークシート	・観察 ・ゲーム ・態度、取り組み点 ・ワークシート	・観察 ・態度、取り組み点

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度